

令和6年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書（上半期分）

事業名	居場所から学びとキャリアを育むわっこの家プロジェクト3rd							
事業者名	特定非営利活動法人もりおかユースポート							
事業の実績 （日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など）	1. 居場所活動							
	日時：毎週火、水、木、金曜日（祝日を除く）14時～17時							
	場所：子ども地域よりあい広場 わっこの家青山							
	参加者：表のとおり。学習支援 名、工作 名の利用を含む。							
			内訳					内訳
	月	居場所	幼	小	中	高	大人	学習支援
	6月	78	2	49	12	0	15	3
	7月	53	3	34	3	3	10	3
	8月	60	1	39	12	0	8	4
	9月	64	1	52	0	0	11	1
	合計	255	7	174	27	3	44	11
	内容							
	子どもから大人まで、地域の方が交流できる居場所を開設した。							
	学習支援や工作ができる環境を整え、子どもが安心して過ごせる場所を提供した。							
	子どもにおやつ、飲み物を提供した。							
参加者の様子								
小学生の利用が多く、放課後の居場所・遊び場として利用していた。								
今年度に入って新規で利用する小学生が増えた。								
中学生は部活動が無い日や授業が早く終わる日に利用がある。								
宿題、ボードゲーム、工作などをして各々が自由に過ごしている。								
わっこの家で使える地域通貨「わっコイン」が子どもたちに定着しており、 【お手伝いでわっコインを集める→食堂や工作の代金として支払う→またわっコインを集める】という循環ができていた。								
今年から県の取組である「いわてクール／ウォームシェアスポット」に登録。大人が休憩スペースとして利用する様子も見られた。								
【写真】								
								

2. わっこ食堂（地域食堂の開催）

日時：昼のわっこ食堂・交流会 毎月第2土曜日

6/8、7/13、8/10、9/14

夜のわっこ食堂 毎月第4木曜日

6/27、7/25、8/22、9/26

場所：子ども地域よりあい広場 わっこの家青山

（盛岡市青山町三丁目29-4）

参加者：表のとおり

【昼のわっこ食堂】

	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	計	ボランティア
6月	1	2	5	0	3	11	1
7月	1	3	3	2	5	14	3
8月	1	7	1	0	5	14	3
9月	1	2	0	0	5	8	2

【夜のわっこ食堂】

	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	計	ボランティア
6月	1	4	2	0	5	12	1
7月	0	3	3	0	3	9	1
8月	0	2	1	0	2	5	5
9月	0	2	0	0	4	6	4

内容

参加者に食堂形式で食事を提供した。

参加者が皆で楽しめる交流会を開催した。

（チャグチャグ馬コ見学、お菓子作り、寄付本の贈呈式、スイカ割り、マネープランゲーム）

参加者の様子

幼児から大人まで、テーブルを囲んで食事を楽しんだ。

昼の食堂では地域の子ども達や家族連れの利用が多くあった。

夜の食堂では家族連れ・リピーターの利用が多かった。

わっこ冷蔵庫の利用をきっかけに参加する方が増えてきた。

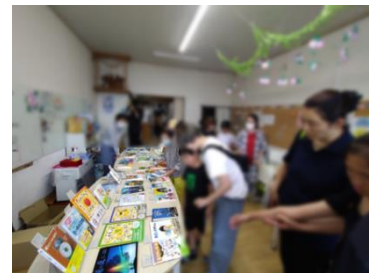
食事の前後で準備や片付けのお手伝いを自発的にしてくれる子どもが多く、参加者同士やボランティアスタッフとの交流が生まれていた。

県立大学やMCL盛岡医療大学校からボランティアを受け入れ、居場所や食堂を通じて地域の支援活動を体験する機会を学生たちに提供することができた。

7月の昼食堂では株式会社さわや書店さま、株式会社盛岡書房さま、ダイハツ工業株式会社さまのご厚意により図書が贈呈された。食堂に参加した子ども達が用意された数十冊の中から本を選び、それらをわっこの家へ寄贈いただいた。

た。子ども達が読書への関心を高める良い機会となった。

【写真】



3. 学習支援

日時：毎週火、水、木、金曜日（祝日を除く）14時～17時

場所：子ども地域よりあい広場 わっこの家青山

参加者：居場所欄の表のとおり。学習支援 名

内容

放課後の居場所においてスタッフによる学習支援を主に居場所利用の小学生の希望者を対象に学習の場を用意した。

参加者の様子

放課後や夏休みに学校の課題（宿題や一人勉強）に取り組む姿が見られた。

子どもの自主性を尊重し、スタッフは学習を補助する形で実施した。

4. 子どものためのキャリアセミナーの開催（全5回）

日時・場所：7/27 青山地区活動センター ギャラリー

8/4 いわて県民情報交流センターアイーナ 調理実習室

9/14 子ども地域よりあい広場 わっこの家青山

参加者：表のとおり

第1回	10名（小学生6、中学生1、大人3）
第2回	15名（小学生9、大人6）
第3回	5名（小学生2、大人3）

内容：【第1回】

「薬剤師・ライフサポーターの方から、楽しい実験を通して学ぶ薬局のお仕事」

有限会社スタイル薬局 まごころサポートマネージャー 野崎 悟氏

有限会社スタイル薬局 薬剤師 伊藤 愛里氏

【第2回】

「パン作りから見えてくる、いろいろな仕事」

Bakery maru。 菊池 真由子氏

【第3回】

「マネープランゲーム！旅行の計画を立てよう！」

特定非営利活動法人もりおかユースポート スタッフ

参加者の様子

第1回は、地域の薬局で働くライフサポーター、薬剤師の方を講師に迎え、薬局が地域において幅広い役割を担っていることを学習した。薬剤師さんのサポートのもと経口補水液作りを実施し、熱中症対策について実践的に学ぶことができた。

第2回はパン職人の方を講師に迎え、メロンパン作りのワークショップを実施した。パンの作り方だけでなく、メロンパンの歴史や発酵の仕組み、パンの製造販売についてもお話をいただいた。プロの技を間近で見学し、実際に作業を体験することで、働くことや将来の展望について関心を持ってもらうことができた。

第3回は当NPOの職員がファシリテーターとなり、マネープランゲームを実施した。グループで旅行のプランを考え、お金の使い方について学ぶことを目的とした。

セミナー後は、各自がワークシートにセミナーでの学びをまとめていた。第1・2回では、ワークシートを夏休みの自由研究として学校に提出できるよう冊子の形にして配布した。

【写真】



事業の評価 (アンケート などの結果、 良かった点、 課題など)

居場所では新規利用の子どもが増えた。安心して利用できる場所だという認識が子どもたちの間で広がっている。

食堂・交流会は食糧支援に留まらず、人と人との繋がりを感じられるコミュニケーションの場として機能している。地元企業の協力もあり、さまざまな体験を提供する場にもなった。

わっコインが普及しており、居場所や食堂において子どもたちの積極性や社会性を育む一助となっている。

キャリアセミナーは昨年度までの経験を活かしスムーズに運営できた。学童や図書館に周知したことで、前年度に比べ開催について多くの方に認識してもらうことができた。

課題

わっこの家は開設7年目を迎え、地域に根差した活動を継続している。利用者は子どもが多数を占めるため、子どもの成長に応じて利用者の入れ替わりも発生する。小・中学校との定期的な連携や、新しくわっこの家を利用する世代の住民に向けて認知度

	を高めていく必要があると感じている。
その他 (特記事項 等)	特になし